

自分の身は自分で守る 熊本地震から学ぶこと

▼防災対策課 ☎23 3548

◆熊本地震から4カ月

4月14日午後9時26分、熊本県を震源とする直下型地震が発生し、熊本県益城町で震度7が観測されました。また、4月16日午前1時25分には、本震といわれる地震が発生し、益城町および西原村で再び震度7の揺れが記録され、多数の家屋が倒壊。大きな被害が出ました。

今回の熊本地震の特徴は、「2回の大きな揺れ」「長期に渡る余震活

動」などが挙げられ、亡くなった方の約7割が建物倒壊などによる圧死といわれています。

このことから「建物の耐震化」「家具の固定」の重要性が見えてきます。

◆歴史は繰り返す

熊本での大きな地震は、今から127年前の1889年7月28日に起こっています。

また、田原市において、大きな被害を及ぼした過去の地震「東

海地震」は、1854年の安政東海地震から162年もの間、発生していません。

大地震は100〜150年の周期で起きるといわれていることから、田原市に大きな地震が、いつ起きてもおかしくありません。

◆地震が起きたら

地震の揺れを感じたら、まずは、**自分の身は自分で守る**

シェイクアウト

身の安全を守る行動

- ①姿勢を低く！②頭と体を守って！
- ③揺れが収まるまでじっとする！



を実践してください。（シェイクアウト）

そして、強い揺れや長い揺れに関係なく、身の危険を感じたら躊躇なく自主的に避難行動をとることが大切です。

また、本市の沿岸部には津波の危険があるので、大きな地震が起きたら、すぐに安全な高台へ逃げましょう。避難したら警報や注意報が解除されるまで、絶対に戻らないことです。

自分や家族の命を守るため、一人一人が日ごろから地震・津波対策を進めることが大切です。

日ごろから家族で話し合おう！

わが家の地震・津波対策チェックポイント

- 建物の耐震診断・補強
- ガラス飛散防止フィルムの活用
- 避難場所・避難方法・避難経路の確認
- 家具の転倒防止
- 災害時の連絡（安否確認）方法
- 非常持出し品（備蓄品）準備・点検



今一度、各家庭に配布してあります「田原市防災マップ」や「防災・減災お役立ちガイド」をご覧ください。防犯対策にお役立てください。